

熊本高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語II
科目基礎情報						
科目番号	LK1208A		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	制御情報システム工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	『Unicorn English Communication2』文英堂、『Hyper Listening Intermediate』文英堂、『データベース 4 5 0 0 完成英単語・熟語 4th Edition』桐原書店					
担当教員	光永 武志,松尾 かな子					
到達目標						
1. 基本的な英文法を理解できる。 2. 基本的な英文和訳ができる。 3. 文法事項について調べ、問題を解くことができる。 4. 基本的な英語を聞いて理解することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
英語のつづりと音との関係理解	学習範囲について、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。		学習範囲について、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声がほぼできるようになる。		学習範囲について、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣することが困難で、また発音記号を見て発声することができない。	
語彙および文法事項	英語 I での既習の語彙や文法事項の確実な定着に加え、学習範囲の語彙や文法事項を十分理解することができる。		英語 I での既習の語彙や文法事項の確実な定着に加え、学習範囲の語彙や文法事項をほぼ理解することができる。		英語 I での既習の語彙や文法事項の定着が十分でなく、学習範囲の語彙や文法事項を理解することができない。	
リーディングとライティング	学習範囲について、内容を読んで十分理解し、また内容について概要など簡単なライティングを行うことができる。		学習範囲について、内容を読んでほぼ理解し、また内容について概要など簡単なライティングをほぼ行うことができる。		学習範囲について、内容を読んで理解することが難しく、また内容について概要など簡単なライティングをすることができない。	
リスニングとスピーキング	学習範囲について、聴いて内容を十分に理解し、また内容について他者に口頭で明確に説明することができる。		学習範囲について、聴いて内容をほぼ理解し、また内容について他者におよそ口頭で説明することができる。		学習範囲について、聴いて内容を理解することができない、また内容について他者に理解して貰えるように口頭で説明することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	週 4 時間のうち 3 時間は検定教科書を用い、英語の基本四技能（読む・書く・聞く・話す）の修得を目指す。1 時間は LSI 教室にて、リスニング教材を使用して授業を行う。また、英文法のテキストと使用して、高校英文法後半部分の理解と整理を行う。通常の定期試験に加え、年 3 回の英単語コンテストを実施するほか、適宜小テストを行う。予習は必須であり、教員によるノートチェックも複数回行う。					
授業の進め方・方法	教科書の学習範囲における単語・熟語の確認を行う。英文を音読し、大意を理解できる。新しい文法事項を理解し、演習問題を解くことができる。学習範囲について、簡単な英語で表現することができる。					
注意点	教科書については、単語と熟語の意味調べ、本文を書いてくるなどの予習をする。授業中の板書等を書き写し、復習しやすいノート作成を心がける。各課ごとにプリントを利用して復習する。普段から身のまわりの英語に関心を持ち、図書館の英語テキスト（多読用 Graded Readers）や英語の映画や音楽などを参考にする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス Unicorn English Communication 2: Lesson 1 Hyper Listening Intermediate: Lesson 1		英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、基本文型や助動詞、強調構文等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。	
		2週	Unicorn English Communication 2: Lesson 1 Hyper Listening Intermediate: Lesson 2		同上	
		3週	Unicorn English Communication 2: Lesson 1 Hyper Listening Intermediate: Lesson 3		同上	
		4週	Unicorn English Communication 2: Lesson 1 Hyper Listening Intermediate: Lesson 4		同上	
		5週	Unicorn English Communication 2: Lesson 2 Hyper Listening Intermediate: Review Test 1		英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、S+V+C（＝分詞）／to不定詞の受動態／倒置等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。	
		6週	Unicorn English Communication 2: Lesson 2 Hyper Listening Intermediate: Lesson 5		同上	
		7週	Unicorn English Communication 2: Lesson 2 Hyper Listening Intermediate: Lesson 6		同上	

後期	2ndQ	8週	Unicorn English Communication 2: Lesson 3 Hyper Listening Intermediate: Lesson 7	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、to不定詞の完了形/to不定詞の否定形/省略等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		9週	中間試験	
		10週	Unicorn English Communication 2: Lesson 3 Hyper Listening Intermediate: Lesson 8	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、to不定詞の完了形/to不定詞の否定形/省略等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		11週	Unicorn English Communication 2: Lesson 3 Hyper Listening Intermediate: Review Test 2	同上
		12週	Unicorn English Communication 2: Lesson 4 Hyper Listening Intermediate: Lesson 9	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、未来完了進行形/動名詞の受動態・意味上の主語/無生物主語等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		13週	Unicorn English Communication 2: Lesson 4 Hyper Listening Intermediate: Lesson 10	同上
		14週	Unicorn English Communication 2: Lesson 4 Hyper Listening Intermediate: Lesson 11	同上
		15週	定期試験	
		16週	定期試験答案返却	
	3rdQ	1週	Unicorn English Communication 2: Lesson 7 Hyper Listening Intermediate: Lesson 12	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、発展的な比較表現/S+V+it+名詞[形容詞]+that節等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		2週	Unicorn English Communication 2: Lesson 7 Hyper Listening Intermediate: Review Test 3	同上
		3週	Unicorn English Communication 2: Lesson 7 Hyper Listening Intermediate: Lesson 13	同上
		4週	Unicorn English Communication 2: Lesson 8 Hyper Listening Intermediate: Lesson 14	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係詞 what を用いた慣用句/複合関係詞/「譲歩」等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		5週	Unicorn English Communication 2: Lesson 8 Hyper Listening Intermediate: Lesson 15	同上
		6週	Unicorn English Communication 2: Lesson 8 Hyper Listening Intermediate: Lesson 16	同上
		7週	Unicorn English Communication 2: Lesson 9 Hyper Listening Intermediate: Review Test 4	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、独立分詞構文/it seems that節とseem to do/「目的の表現」等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		8週	Unicorn English Communication 2: Lesson 9 Hyper Listening Intermediate: Lesson 17	同上
	4thQ	9週	中間試験	
		10週	Unicorn English Communication 2: Lesson 9 Hyper Listening Intermediate: Lesson 18	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、独立分詞構文/it seems that節とseem to do/「目的の表現」等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		11週	Unicorn English Communication 2: Lesson 10 Hyper Listening Intermediate: Lesson 19	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発声できるようになる。英語 I での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、S+V(=be)+C(=wh-節など)/仮定法のいろいろな形/「時」の表現 等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		12週	Unicorn English Communication 2: Lesson 10 Hyper Listening Intermediate: Lesson 20	同上

		13週	Unicorn English Communication 2: Lesson 10 Hyper Listening Intermediate: Review Test 5		同上	
		14週	Unicorn English Communication 2: Lesson 10		同上	
		15週	定期試験			
		16週	定期試験答案返却			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
				英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。		2	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。		2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。		2	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。		2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。		2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。		2	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。		2	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2		
	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	

			書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	2	
			収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	2	
			収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	2	
			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	2	
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	2	
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	2	
			あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	2	
			複数の情報を整理・構造化できる。	2	
			特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	2	
			課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
			グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	
			どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	
			適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	
			結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	2	

評価割合							
	試験	平常点 (小テスト・レポート)	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0